

令和四年度 奈良県知事賞

全ての人が幸せに暮らすために

黒滝村立黒滝中学校 三年 上北 小都音

夏休みになった。今年は、どんなことをして楽しもうかとワクワクしていた。そんなある日、学校の学習会で租税教室があった。私が税と聞くと、消費税を思い出し、それは少し高いというイメージだった。しかし、それ以外の税は、よく知らず、あまり興味がなかった。

租税教室では、二人の先生が来てくれ、どんな税があるのか、税の使われ方など教えてくださった。私は、新しく知ったことばかりでとても興味が湧いた。そんな中で特に興味を持ったのは、国の財政だ。国の収入、歳入の内六割が税金だけれど、四割は国の借金であった。また、その借金は返済よりも多い状態が続いている。私は、国が借金していることは、聞いたことがあった。けれど、四割も借金でまかなって、また、返済よりも多いことは知らず、びっくりした。さらに話を聞くとその借金は年々多くなっているそうだ。そこで、なぜこんなにも年々国の借金が増えているのか気になり、調べてみた。すると、社会保障の増大が原因だそうだ。社会保障とは子どもからお年寄りまでの、全ての人々の生活を支えるものだ。今の日本は少子高齢化が進んでいる。だから、子どもや子育て世代には、子どもを育てやすい環境をつくるため。また、高齢者には、介護などの福祉を充実させるためにお金が必要になるのかなと思った。

私の村でも、少子高齢化がとても進んでいる。そこで、私の村の財政を見てみた。すると、私の村も借金が返済より多かった。しかし、歳入で大きく違ったところがあった。それは、村の税の割合が五パーセント以下であることだ。しかし、これだけでは村をまかなえないので、このような村には地方交付税などの国から交付されるお金がある。このお金も税でまかなわれている。そんなお金の使い道を調べてみた。調べてみると、自分の生活に大きく関わりのあるものばかりだった。例えば、教育費だと、登下校で利用するスクールバスや一人一人に配られたパソコンに関連するものなどだ。どれもこれも、私たちが学校生活を送るために必要なものばかりだ。税は、こんな身近なところにも使われていた。

私は、国と村の財政を調べて、借金をしないと税金だけでは、なかなか全ての世代が幸せに暮らすことはできないと思った。でも、借金は、いつか返さなければいけないもので増えると返すのが大変になる。でも、この問題は、税だけで解決できることではないと思う。なぜなら、税は、少子高齢化に対することに使うだけでなく新型コロナ対策などに使うからだ。全ての問題を少しずつ解決することでその分出なくなったお金で借金も少しずつ返すことができると思う。しかし、私はそんな問題を解決することはできない。けれど、三年後私は選挙権を持つ。だから、選挙に参加することで、問題解決にも参加したい。